

作新学院高等学校同窓会報

発行 作新学院同窓会 〒321-0027 宇都宮市埴田1-3-27 船田教育会館内 TEL 028-621-9083 FAX 621-3941



在校生約4500名が作り上げた人絵文字。



同窓生の皆様へ

祝・作新学院高等学校

創立130周年

会長 安藤 寛樹

(昭和45年卒)

作新学院高等学校創立130周年おめでとうございます
同窓生の皆さんと共に祝い申し上げます、我が母校が130周年を迎えたことは誠に嬉しい限りであります、明治18年に下野英学校として創立され今日まで10万人を超える学生を送り出しその卒業生が各地、各方面で大いに活躍している事はこの上ない喜びであります。

去る10月24日同窓会として“作新学院創立130周年を祝う会”を多くの卒業生と共に開催し、来賓として船田学院長をはじめ教職員の皆様、3人の大学教授の同窓生に話を頂き、特にモントリオールオリンピックで団体・金メダルを取った五十嵐さんの話では大いに盛り上がりました、また今まで同窓会活動に大変ご尽力いただいた前・元会長などの方々に感謝状を贈呈させて頂きました。同時に記念事業として10月31日宇都宮市内二荒山神社前において献血会を行い在校生も含め同窓生に参加頂き社会貢献活動も行うことが出来た、皆さんにご協力頂き感謝も申し上げます。

今年の学生の活躍は素晴らしく硬式野球において夏の甲

子園には5年連続出場、軟式野球の全国大会優勝を含め5つの競技で日本一に輝きました、また“アフリカ1万足運動”などボランティア活動などに、多くの学生が参加したと聞き嬉しく思っています。同窓生の方々にも応援寄付や靴など協力を頂きありがとうございました

さて昨年も多くの実業を行いました、成人祝賀会に始まりOBOG会、若手異業種交流会、研修旅行、文化祭活動等多くの事業を行いました、成人祝賀会には400人を超える成人の方々と久々に会った担任の先生方と交流もでき大いに盛り上がることもできました、

これらは、いろいろな事業を通し同じ門をくぐった卒業生が“一校一家”の精神の元、学院と同窓会の絆を大切に、お互いを助け合い協力し合いそして地域社会に貢献することが、同窓会の大きな使命と感じております。

最後に作新学院が140年150年と益々繁栄する事を願う同窓生皆様の今年1年のご活躍とご健勝と祈念申し上げます。



創立130周年を越えて

作新学院 院長 船田 元

私たち作新学院は、昨年お陰様で創立130周年の節目を迎えることが出来ました。これも同窓会の皆様をはじめ学校につながる方々、さらには多くの県民の皆様のご理解とご支援の賜物と、心から感謝申し上げます。また多くの同窓生にはご多忙の中、去る9月28日の創立記念式典にご臨席いただき、また去る10月24日には同窓会主催の祝賀会を盛大に開催していただき、心より感謝申し上げます。

作新学院の前身である「下野英学校」はご承知のように明治18年、宇都宮の真ん中の江野町で小さな産声をあげました。この年はJR宇都宮駅の開業の年でもあります。当時は東京から始まった文明開化の波が「陸(おか) 蒸気に乗ってやってくる」とも言われ、東北本線の宇都宮到達は、計り知れない影響をもたらしましたようです。私の曾祖父で創立者の船田兵吾をはじめ十数名の若者たちは、私塾を作ってこのような文明開化の波をしっかりと受け止めようとしていました。

いま私たちは創立130周年を経て、この建学の精神をさらに深化させるため、具体的な教育目標として、「文武両道」そして「社会貢献」を指標として、日々教育実践を続けております。まず「文」においては、26年度の卒業生からは国公立大学合格者が124名生まれましたし、さらなる難関大学を目指す「トップ英進部」も26年4月からスタートいたしました。

また「武」においては、高校野球での甲子園夏の大会5回連続出場をはじめ、インターハイや全国大会、国民体育大会には多数の選手を送り込み、軟式野球、弓道、バドミントン、ボクシング、空

手、少林寺拳法、パワーリフティング、ゲートボールなどで全国優勝を果たしました。

「社会貢献」としては、地球環境を守るためのエコキャップ回収や足尾での植林活動、オール作新による被災地支援活動の継続、さらには国際貢献にもウイングを伸ばして、アフリカの子どもたちに1万足の運動靴を送る活動など、枚挙にいとまがありません。

今わが国は、他国に例を見ないスピードで、超高齢化・少子化社会を突き進んでいます。人口減少も加速度的に進んでまいります。目の前にお手本となる国も地域もありません。日本がこれから全く未知の体験をするわけです。私たちがこれまで「作新民」の精神に基づいて輩出してきた人材や、これから作ろうとしている人材は、「自らを新しくする」主体的な人間として、必ずやこの荒波を乗り越えてくれるものと確信しております。

昨年は創立130年を前にして、もうひとつ面白い話題がありました。火星と木星の軌道間を漂う、直径約10kmの小惑星に、「sakushingakuin」という固有名を命名することを、国際天文学連合が正式に承認しました。生徒たちが48億キロの彼方にある小惑星に想いを馳せ、ローカルからグローバルへ、そしてグローバルからユニバーサルへと、活躍の舞台を広げて行って欲しいという私たちの願いも込められています。

私たち作新学院は気持ちを新たにして、今後とも「新たに作る民」の育成と社会への貢献を目指して、作新学院同窓会の皆様とともに全力で取り組んでまいります。皆様の変わらぬご指導とご鞭撻を、よろしくお願いいたします。

学院近景





ご挨拶

高等学校 校長代理 松 久 武

同窓会の皆様には、平素から母校の教育に深いご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。おかげ様で昨年度は、作新学院は創立130周年の節目の年を迎えることができました。

昨年度の高等学校の生徒数は、トップ英進・英進部793名、総合進学部1264名、情報科学部1387名の計3444名です。平成27年度大学入試では国公立大学に124名が合格、この合格者数は栃木県内の公立全77校中で第4位であり、地元宇都宮大学には県内トップの27名の合格者を輩出することが出来ました。国公立大学合格100名超えは一流進学校としての証であり、指導する教員の熱意と生徒の努力の賜物であると言えます。部活動におきましては、軟式野球部が6年ぶり9度目の全国大会優勝と国体優勝の2冠達成、硬式野球部が栃木県史上初の5年連続夏の甲子園出場を果たすなど、33の運動部・文化部がインターハイ・国体・全国大会に出場し、5競技(軟式野球・弓道・バドミントン・少林寺拳法・ゲートボール)が全国優勝という輝かしい成績を収めました。また学習活動として、文部科学省から5年間指定を受けたSSH(スーパーサイエンス)においては、生徒達の活発な取り組みにより数理能力およびプレゼンテーション能力が著しく向上し、関係機関から高評価を得ることができました。平成27年12月の生徒研究発表会では大学の卒業研究レベルの研究発表もあり、在校生や大学の先生方からも研究内容に関する質問が飛び交うなど、5年間の集大成としてふさわしい研究発表会となりました。学校の行事としては、従来から実施

しておりますアメリカ合衆国への語学研修に加え、今年度からケンブリッジ大学が設けた人材育成プログラムに基づいたグローバル研修を始めました。数年後に実施される大学入試制度の大幅な改革、選挙権年齢の18歳への引き下げによる「18歳で大人になる社会」が実現するなど高校の現場においては新しい時代を迎えます。これらの現状を踏まえ、昨年度から総合進学部と情報科学部も英進部同様、第一・第三土曜日授業を実施しております。また昨年度設置しましたトップ英進部では、全土曜日アクティブ・ラーニングという参加型授業の取り組みなどを通して、生徒は高い意識で授業に向かい、学力は県内トップの位置にあります。

平成27年11月から朝日新聞が全国各地の伝統校を掲載している『青春スクロール』で作新学院が7回にわたって取り上げられ、文化・芸術・学術・スポーツ等幅広い分野において国内外で活躍している多くの卒業生を知ることができました。まさに作新学院の一家一家の精神が綿々と息づいていることに対し、非常に心強く、頼もしく誇りに思います。新たに同窓会員になられた皆様におかれましても作新学院で培った精神力をさらに磨いて、変化の激しい時代の中だからこそ有用な人材として、社会でご活躍されることを期待しております。

最後になりますが、作新学院同窓会の益々のご発展を心から祈念申し上げましてご挨拶といたします。

学院近景



同窓生紹介

さまざまな分野で活躍する同窓生！



「北海道夕張市政に携わった
経緯と今後の抱負について」

夕張市議会議員 君島 孝夫
(昭和39年卒・東京作新会会長)

2010年12月、知人の息子が北海道夕張市長選挙に立候補すると聞いて、その若者の志と情熱に強く共感し、応援したい一心で、住まいのある埼玉県から年齢も顧みず、縁もゆかりも無い夕張の地へ移り住み、スポーツで言うところの監督と選手で選挙運動を勝ち抜きました。それから4年間、夕張に住み、暮らし、働きながら、市長の政治活動をサポートしてきましたが、若き市長の、斬新なアイデアと強力な発信力を、目に見える形で実現して行く姿を目の当たりにしました。しかし二元代表制の一翼を担う市議会のサポートする力が不十分であるように思い、私が市議会に入り議員としてサポートしようと決心し、一昨年10月頃から6ヶ月前より選挙準備に入り、徐々に支持の輪を広げることができ、昨年4月の夕張市議選に当選しました。

夕張市は東京都と同じ位の面積をもち、破綻前は12万人の人口で炭鉱は1日3交代稼働、商店街を含め24時間、人で賑わっていました。破綻後、人口の流失は止められず市職員も300人から100人に減り、人口も一気に1万人を割ってしまい、小学校は11校が1校に、中学校は7校が1校に、高校は4校が1校になり、いまその高校もキャンパス校になろうとしている。住宅もコンパクトシティ化し、分散している住宅を中心地域に集め新たな都市拠点を築こうとスタートしました。

このような状況下、役所には全国の自治体より応援を受け職員を派遣して頂き何とか市民にギリギリの行政サービスを行っているような状態です。少子高齢化が日本一(高齢化率48パーセント)、日本の将来の縮図が夕張だと言われています。全国唯一の財政再生団体・夕張は、全国最高の負担、最低のサービスを強いられている現実から、1日でも早く日本国民の平均的市民サービスを受けられる自治体になるよう働きたいと思っています。



誇りを持ってスポーツに
携わる仕事で邁進したい

新潟大学
教育学部教授 五十嵐 久人
(昭和44年卒)

作新学院高等学校同窓会の皆様、ご健勝でご活躍の事と存じます。また、作新学院が、昨年創立130周年を迎えましたこと心からお喜び申し上げます。

作新学院名物、円形体育館で自由奔放に練習をしていた頃が、今でも懐かしく脳裏に焼き付いています。そこが私の競技生活の原点でした。その後、紆余曲折に遭いながらも1976年モントリオール五輪で、日本男子体操五輪5連覇(金メダル)に貢献でき、スポーツ紙の一頁を飾る事ができたこと、幸せに感じます。

8年前に、JOC(日本オリンピック委員会)から推薦され、“フジヤマのトビウオ”と称された、故古橋廣之進氏に引き継ぎ、大学教員の本務の傍ら国際大学スポーツ連盟(ユニバーシアード等の運営・統括組織)の理事としての仕事をしています。昨年は改選の年でしたが、11月8日にスイス・ローザンヌで行われた総選挙(加盟国167ヶ国)で、23名の1人として再選出され「ホツと」しています。今や2020年東京五輪を控え、国際役員を増やしていきたいのが日本スポーツ界の願いですから、尚更その思いがひとしおです。

27歳の時、競技や仕事も全てやめました。全てをゼロにして、アメリカに渡りました。以来30数年間、語学を続けています。それは国際的な役員をするだけではなく、“好きだから”でした。語学は私の本務に直接には必要ない学問かもしれませんが、このような役目を仰せつかると、今更ながら、「無用の用」が活かされているような気がします。

作新学院の卒業生として、誇りを持ってスポーツに携わる仕事を、これからも精一杯邁進しようと思っております。

作新学院高等学校同窓会 平成26年度定時総会

広報部部长 渡邊 幸雄 (平成4年卒)

平成27年6月5日、宇都宮市のホテルニューイタヤで、船田元学院長をはじめ、多くのご来賓や約100人の同窓生が参加して開催しました。三村副会長(昭35年卒)の開会宣言の後、全員で学院歌を斉唱。安藤寛樹会長(昭45年卒)が「同窓会も益々活性化しており、加えて異業種交流会、部活動OB・OG会も軌道に乗ってきました。今後は若手の同窓会員の発掘に努めていきたい」と抱負を述べました。来賓を代表して船田元院長が「近年、各分野での同窓生や在校生の活躍には目を見張るものがあり、大変喜ばしい。今年は創立130周年の節目の年であり、更なる発展を目指したい」と述べられました。

この後、吉高神渡(昭45年卒)、天野辰美(同)を議長団に選出、議事に入りました。

- 第1号議案 同窓会基本財産取り崩し
- 第2号議案 平成26年度予算報告並びに決算
平成26年度基本特別会計報告
- 第3号議案 平成27年度事業計画(案)
並びに収支予算(案)
- 第4号議案 その他

第1号～第4号議案まで、慎重審議の結果、原案通りに承認され、福田副会長(昭31年卒)の閉会の言葉で総会は無事終了しました。

終了後の懇親会は、松久武校長代理から、ごあいさつを頂き、大淵皓之同窓会前会長(昭33年卒)の乾杯のご発生で開会。ハワイアンバンド「アロハ・レイのアイランダース」の生演奏の中、久しぶりに会った先生や級友たちと、和気あいあいの内に、楽しい一時を過ごした。



(株)安藤設計(一級建築士事務所)

<http://ando-sekkei.jp/>



代表取締役会長 安藤 英夫 (昭和43年卒)
代表取締役社長 安藤 寛樹 (昭和45年卒)
取締役総務部長 安藤 篤史 (平成 9年卒)
宇都宮市山本1-3-14 ☎028-625-2875

1952年創業 あなたの街の「げいりし」さん

尾花税務会計事務所

〒322-0029 鹿沼市西茂呂3-19-2

(「ミストア 鹿沼西茂呂店」となり 茶色の2階建てが目印)

ご相談専用ダイヤル ハロー オバナ
0120-806-087



作新学院高等学校同窓会

第41回 新年会・新成人祝賀会の開催



平成27年1月10日(土)「作新学院高等学校同窓会 第41回新年会・新成人祝賀会」を、宇都宮市内のホテルニューイタヤに於いて開催いたしました。冒頭 安藤寛樹会長の主催者あいさつの後、新成人者代表 大音秀樹さん(平成24年度卒業生クラス幹事)、三木優美さん(平成24年度生徒会長)に花束の贈呈を行いました。

船田元学院長、松久武校長代理の来賓祝辞で

総務企画部副部長 天野 辰美 (昭和45年卒)

は、文武両道を掲げる母校の輝かしい各部活の活動や、国公立大学等への進学実績、創立130年を迎える年に当たり、建学の精神「作新ルネッサンス」に基づく新たな母校の挑戦が紹介されました。350人を超える新成人参加者とともに、出席者一同母校の絶え間ない躍進に心を強くしました。

懇親会では、1年生の授業中に発生した東日本大震災の恐怖や帰宅困難を助け合い、乗り越え、この得難い経験によってお互いの絆を深めあった平成25年卒業の新成人者と、「教え子の成長した姿を見るのが、教師の大きな喜びの一つ」としてご参加頂きました50人を超える教職員の皆さん、特に平成24年度3年生担任の先生方を中心に、会場に次々と人の輪が広がり、大人としての人生の出発点を喜び合い、祝賀会は大盛況のうちのお開きとなりました。



総合建設業

株式会社 鱒淵建設

代表取締役 鱒淵 孝男

建築部 小牧 英夫 (昭和56年卒)

宇都宮市中央3-15-13 ☎028-633-3261

昭和車輛(株) (重機の修理・販売)

代表取締役 坂本 功樹 (昭和50年卒)

宇都宮市上大曾348 ☎028-624-8553



(総合建設業)

株式会社 新生工業

代表取締役 櫻井 英治 (昭和57年卒)

宇都宮市徳次郎町46 ☎028-665-1502



(総合建設業)

中村土建株式会社

代表取締役社長 渡邊 幸雄 (平成4年卒)

宇都宮市大曾4-10-19 ☎028-622-6581

2015年 学院創立130周年記念の事業

2016年12月に完成を目標とする一の沢キャンパスに
『作新アカデミア・ラボ』(新建築物)発表紹介

年齢、文化、民族の違いを超えて様々な分野の人々が集う自由と多様な“知の実験場”をめざしており、生徒たちが登下校する正門の名称は「アカデミア・ゲート」、愛称は「アカ門」です。東大の赤門のように愛され誇り思われ、シンボリックな存在になることを願っています。また、「サク・ラボ」の「サク」には作新のサク、success (成功) のサク、succeed (継承する) のサク、桜咲くのサクなどの意味があり、そうした思いをカタチに込め建物の形状は“S”を形どっています。

『Sskushin Academia Lab』の
スペース空間

- **Earth & Study Lab** (学習室スペース)
本学の教育方針「自学自習」を体得する
学習室型ラボ
- **Language & Culture Lab** (ランゲージ・ラボスペース)
“生きた”コミュニケーション力として語学学習を
実現できるラボ
- **Academia Gate**
登下校する正門のゲート
- **Innovation & Business Lab** (購買スペース)
生徒が開発した商品と企業とのコラボ商品などを
展示・販売するラボ
- **Life & Communication Lab** (ダイニングスペース)
豊かな“生命”と“暮らし”の創造を目的としたラボ

その他の記念事業

- 「トップ英進部」スタート
真の「グローバルエリート」育成を目指して、学力最上位層の未来を創造する教育プログラムをスタート。
- 高等学校の制服をリニューアル
特徴的なキャラメルゴールドの制服が誕生。胸元を飾るエンブレムもデザインを変更。
- マスコットキャラクター「さくしろう」誕生
キャラクター名は「作新を知ろう!」で「さくしろう」。笑顔にしてくれるマスコットキャラクターに文房具やLINEスタンプなどグッズも続々増加。
- アフリカに1万足プロジェクト
アフリカの靴のない子どもたちを救うために「1万足靴」を目標に達成。
- 小惑星16650に「Sakushingakuin」を命名
小惑星「Sakushingakuin」の命名を国際天文学連合 (IAU) が承認。

株式会社コスモ鋼業

代表取締役 遠藤 盛 (昭和58年卒)
宇都宮市西刑部町2604 ☎028-656-7330
s-endo@cosmo-kogyo.co.jp

(株)とらや弥生

代表取締役 柿沼 克弥
柿沼 宏 (昭和31年卒)
柿沼 誠 (平成7年卒)
宇都宮市中岡本町3723-24 ☎028-666-0530

● 小惑星に「作新学院」の名前が付きました!

宇宙に輝く “Sakushingakuin”

作新学院の長い歴史(130周年)の中で私たちは、何回か宇宙との関わり合いを経験しました。約60年前の1957年10月、人類初の人工衛星スプートニク1号が、当時のソビエト連邦によって打上げられた時に、当時の高等部の天文班がその軌道観測に成功し、スミソニアン天文台から認定証が送られました。

そして今度は、火星と木星の間を回る数多くの小惑星の中から、札幌市の天文家・渡辺和郎さんが1993年に発見した小惑星16650に

“Sakushingakuin”という固有名を付けることが、やはりスミソニアン天文台によって認定されました。

小惑星“Sakushingakuin”は、直径が10kmほどの小さな星くずですが、作新の学び舎に集う若者たちの果てしない夢をのせて、大宇宙を今も、これからも飛び続けます。作新学院はグローバル(地球的)な存在から、ユニバーサル(宇宙的)な存在に拡がってきたのです。

16650

“Sakushingakuin”



(有)坂本商店(業務用青果・漬物製造卸)

代表取締役 坂本 昭(昭和31年卒)

宇都宮市京町3-4 ☎028-633-4003
FAX 028-632-9148

(有)川口写真館

代表取締役 川口修一(昭和44年卒)

宇都宮市北一の沢21-19 ☎028-622-4641

うつのみや 野菜タップリ! グルメも納得!
名物 新三の薄皮餃子

『割烹弁当』の新三

代表取締役 鈴木郁夫(昭和24年卒)
宇都宮市今泉3-12-30 ☎028-622-8337

金田商会

代表取締役 金田真麒(昭和35年卒)

宇都宮市松原1-5-5 ☎028-622-1846



作新学院創立130周年を祝う会

同窓会副会長 三村 松司 (昭和35年卒)

作新学院が昨年、創立130周年を迎えたのを記念して、同窓会主催による「創立130周年を祝う会」が昨年10月24日、宇都宮市のホテルニューイタヤで開かれた。

祝う会には船田 元学院長やご来賓と、約120人の同窓生が参加。主催者を代表して安藤 寛樹会長が「十数万人の同窓生を擁する母校が、創立130周年を迎えることに感慨も一入です。作新学院のより一層の発展に、同窓会も一丸となって貢献していきたい」と力強くあいさつしました。船田 元学院長も「幾多の困難を乗り越え、130周年を迎えられたのも多くの同窓会員、多くの教職員の献身的なご支援の賜物。これからも全ての面において同窓会と学院が手を携え、次のステップに向け突き進んでいきたい」などと述べられました。

続いて同窓会活動に長年尽力されたもと正・副会長13人に安藤 寛樹会長から感謝状と記念品が贈られ、受賞者を代表して柿沼 宏元会長が謝辞を述べられました。吉羽 茂 栃木県議会議員(高男20回卒)や、松久 武校長代理の乾杯で幕を開けた懇親会では、1976年モントリオール五輪男子体操で金メダルの五十嵐久人さん(高男21回卒・新潟大学教授)、明治大学教授で2007年文部大臣表彰を受けた渡邊 友亮さん(英進4回卒)、作新初の自治医科大学に合格した、同大救急医学教室非常勤医員として活躍中の室野井智博さん(英進13回卒)、東京作新会会長で現在夕張市議会議員の君島 孝夫さん(高男17回卒)の4人がそれぞれ作新学院時代の思い出や近況を話され、同窓生らは熱心に耳を傾けていた。OBで著名人から寄せられたビデオレターも放映。締めには恒例の青年部有志によるエッサッサでお開きとなった。

同窓会活動に
尽力された
受賞者の方々です

元会長 柿沼 宏(高男 8回卒)・前会長 大淵 皓之(高男10回卒)
元副会長 稲見 邦男(下中42回卒)・福田 照治(下中45回卒)・高野 博子(高女 3回卒)
清水 和夫(高男 4回卒)・野沢慶次郎(高男 8回卒)・坂本 昭(高男 8回卒)
鈴木 邦彦(高男10回卒)・金田 真麒(高男12回卒)・伴 清(高男12回卒)
大橋 純雄(高男19回卒)・川口 修一(高男21回卒)

慈善献血会を実施

高等学校同窓会は昨年10月31日(土)、作新学院創立130周年記念事業として、慈善献血会を宇都宮二荒山神社前のバンバ市民広場で実施しました。

会場では「献血 ありがとう!命をつなぐリレーに献血というバトンを渡すのは皆さんです!」と書かれたA4判のチラシを配布、献血を呼びかけました。安藤寛樹同窓会長は「県赤十字血液センターの協力を得て実現できた。慈善献血は社会貢献の一環で、作新の創立130周年を多くの市民に知ってもらおう狙いもある」と話し、同窓会活動の目的を果たしました。



同窓会恒例
視察・研修

「ぶらり横浜散策」旅行

幹事長 鈴木 勲 (昭和38年卒)

平成27年11月7日(土)文化厚生部主催により、「ぶらり横浜散策」と銘打った視察・研修旅行を行いました。

当日は、安藤寛樹会長ほか23名が作新学院に朝7時に集合し、バスで一路横浜方面に出発しました。東北自動車道路では、途中渋滞にあい約4時間かけて東京湾に浮かぶパーキングエリア「海ほたる」に到着。海のなかに建っている施設に感激し、互いに写真を撮り合いました。その後、首都高速道路から新山下ICを経て横浜中華街の名店「中華菜館・同発」へ。中華街は1955年以前唐人町や南京町とよばれていたが、現在はチャイナタウンと呼ばれている。同店では広東料理の特別コースでビール、紹興酒で杯をかわし楽しいひとときを過ごしま

した。中華街自由散策では、各自目的のお店に向かい楽しい買い物の時間をとりました。その後、近くの山下埠頭から、ベイエリアの名所を眺めながら横浜の主要観光地まで移動できる港町ヨコハマならではの海上交通船「シーバス」で、赤レンガ倉庫に到着。明治政府によって保税倉庫として建設された新港埠頭保全倉庫の歴史的建築物の「赤レンガ倉庫」に、全員タイムスリップしたような不思議な感覚を体験しました。

今回は、「近くて楽しい」をテーマに古きよきヨコハマの街をぶらり散策してもらおうと計画しましたが、満足いただけたと自負しております。

来年度も楽しく愉快的な企画をと考えておりますので、どうか多くの方のご参加をお願いいたします。



Beams 高精細印刷 伴印刷株式会社

代表取締役 伴 清 (昭和35年卒)

常務取締役 伴 誠 (昭和62年卒)

生産管理部長 伴 康行 (平成7年卒)

宇都宮市栄町6-10 ☎028-622-8901 FAX 028-622-4525

NETIS登録

KT-100005 防草緑化挿し芽植栽工法

株式会社 落合東光園

代表取締役 落合 功 [昭和37年卒]

事務所/河内郡上三川町川中子921 ☎0285-56-3751



作新若手異業種交流会今後の活動

交流会実施委員長
本澤 崇(平成2年卒)

皆様は作新学院高等学校を卒業する際、同時に同窓会に入会していただいております。しかしながら、卒業後の交流が少なく同窓会の活動を認識していない卒業生も多く見受けられます。また、卒業生は約12万人を越え、県内は勿論、日本一であります。その様な状況ですから、作新同窓生であることすらも知らずに日々の付き合いをしていることを多々見受けられますし、どこかで行き会っても、「作新卒なの?」のような会話は日常茶飯事です。

これらを少しでも打開するために、卒業生の裾野を広げ年に一回程度の交流会を開催したいと考えております。

交流会では、会の趣旨説明や同窓会活動を知っていただくために、現在の組織「総務企画部」・「組織財政部」・「広報部」・「文化厚生

部」・「青年部」5部の活動紹介をはじめ、この交流会の可能性や動向を見出すために、参加者の考えや思いや、自己紹介を兼ねた学生時代の思い出、現状報告を全員にコメントをして頂き楽しい場を設けたいと思います。

現在までに初回、2回目で約100数名の参加者があり、昨年は創立130周年を祝う会に異業種交流会から24名参加頂きました。このことから同窓会の周知に貢献できていると感じています。しかし同窓会組織を知らない卒業生は数多くおります。従いまして様々な可能性を広げるため、今後も交流会を開催したい所存です。その際は、これまで同窓会と関係が薄い卒業生等にお声掛けいただき、是非ともご参加くださいますよう宜しくお願いします。

イマイズミ (宝石・貴金属)

<http://www.imaizumi-j.com/>

代表取締役 今泉 臣夫 (昭和37年卒)

宇都宮市仲町1-13 ☎028-622-3573

元氣の里

(特別養護老人ホーム・ケアハウス)

施設長 角田 充由 (平成5年卒)

宇都宮市幕田町1456-1 ☎028-655-2611

手塚・吉高神司法書士事務所

司法書士 吉高 神渡 (昭和45年卒)

宇都宮市小幡2-6-10 ☎028-627-0521

藤田勝春法律事務所

弁護士 藤田 勝春 (昭和35年卒)

宇都宮市清住 3-1-14 ☎028-625-3266

一休会植樹碑について



昨年、作新学院は創立130周年を迎えました
が、同時に戦後70年の節目でもありました。70
年前の昭和20年7月12日、宇都宮は米軍による
大空襲を受け、市内の6割が焼失、600名余が
犠牲となりました。さらに7月28日には、現在の
JR宇都宮駅西側にあった工場敷地内で、空襲
の後片付けのため動員されていた下野中学校の
2年生が、米軍機の機銃掃射に遭遇し、5名の
若い命が奪われました。

彼らは昭和19年に作新学院の前身である下野
中学校・作新館高等女学校に入学しました。そ
こで、同級生たちは卒業後「19」の語呂をとつ
て、「一休会」というクラス会を立ち上げました。

昭和48年7月には、機銃掃射で犠牲となった5
名と、空襲で亡くなった2名の同級生の御霊を
慰めるため、高校校舎の1号館南にある噴水庭
園の一角に植樹碑を建立しました。

毎年7月には一休会の皆さんが慰霊祭を主催
されましたが、メンバーの高齢化に伴い、その後
生徒会との共催になり、ここ数年は生徒会主催
の慰霊祭となりました。世界中で紛争やテロが
後を絶たない昨今、私たちはあらためて平和の
尊さを認識するとともに、70年前に、無念にも
若い命を絶たれた7名の御霊に対し、同窓会の
皆様とともに心から哀悼の意を表したいと思ひ
ます。



医療法人(社団)荒川歯科クリニック

理事長 荒川 敏明 (昭和48年卒)
宇都宮市西川田本町4-1-3 ☎028-645-5072

花と園芸 (株)藤野グリーンセンター

代表取締役 藤野 善勝 (昭和35年・商3回卒)
宇都宮市さつき2-3-5 ☎028-653-8660

東京作新会の活動

東京作新会会長 君島 孝夫 (昭和40年卒)

作新学院同窓会の皆様、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

一校一家の精神で文武両道の作新学院が創立130年を迎えられ卒業生として誇りにおもいます。硬式野球部の甲子園大会、軟式野球部の全国優勝などなど数多くの母校の活躍にこころ躍らされました。また船田 元学院長の目指す教育方針・グローバル人材育成を応援してまいります。

今年の東京作新会総会には安藤寛樹会長代の三村松司副会長と鈴木 勲幹事長に駆けつけていただきました。また新たに参加されました北海道苫小牧駒沢大学前学長小堀訓男さん(現駒沢大学法学部教授)、千葉県八千代市の阿相陽子さん、渋谷区の大垣靖子さんが出席され盛会となりました。

都合で欠席された会員より送られて来た近況報告の中で元気で活躍されている諸先輩方が沢山あります。その1人に遠藤萬里さん(9回生)は全国の数々のマスターズ陸上競技選手権に出場し上位に入賞しております。(本年は栃木マスターズ選手権大会)で準優勝されました。

また朝日新聞栃木版(11月25日付け)青春スクロール(母校群像記)と題して母校の思い出語る企画に栃木高校、大田原高校、宇都宮女子高校に続き作新学院高校が取り上げられました。東京作新会からは鶴巻克雄氏、小堀訓男氏、遠藤萬里



氏、落合明子氏、吉澤秀人氏、君島孝夫の6名が掲載されました。少しでも作新学院の名をPRできればと思います。東京作新会に1人でも多く入会をしていただき親睦を深められるよう世話人一同お待ちしております。

東京作新会 世話人

連絡先	君島 孝夫	☎0123-57-7811
	鶴巻 克雄	☎0424-21-0177
	相場 啓介	☎03-5453-1616
	北村 文子	☎03-3918-9904
	海藤 政子	☎03-3392-7032
	落合 明子	☎048-269-2020

作新学院二里山会と同窓会との係わり

英進部学務主任 渡邊 毅 (昭和50年卒)



作新学院高等学校同窓会の皆様におかれましては、ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、二里山会とは、作新学院の幼稚園・小学部・中等部・高校・大学・事務局に勤務し、作新学院同窓生である教職員で構成されている親睦団体で、会員数は144名で教職員全体の3分の1以上を占めています。現在の形になってから20年余りではありますが、その歴史はさらに古く、諸先輩方に伺ってみても、いつから発足したのか明確には分かりません。

現在、二里山会は、年1回ずつ開催される総会と

歓迎会・送別会を兼ねた懇親会、そして同窓会活動への協力や参加を積極的に行っています。つまり、同窓会の一員として、同窓会と作新学院との橋渡しを担っているという自覚の基に活動しています。特に昨年度は、作新学院が創立130周年を迎えた節目の年であり、二里山会ならではの協力ができたと考えています。

私共は、微力ながら同窓会の一員として、今後とも同窓会活動に少しでも貢献できればと考えています。ご一緒できる機会を楽しみにしております。

金箱工設株式会社

代表取締役 金箱 忠司 (昭和46年卒)
宇都宮市雀宮町118-4 ☎028-653-6603
info@kanebako.co.jp
うつのみやCSRまちづくり貢献企業

小林建築設計事務所(一級建築士事務所)

代表 小林 基 (昭和48年卒)
宇都宮市宝木町2-944-13 ☎028-652-1770
m-koba@moon.ucatv.ne.jp

今年成人を迎えられる卒業生

ご成人おめでとうございます。

英進部

光陰矢の如し……皆さんが英進部を卒業されて、はや2年。東日本大震災の直後に行われた教室での入学式から卒業までの数々の思い出が走馬灯のように浮かんできます。203名という少ない在籍人数でありながら、皆さんが残した輝かしい実績は、後輩たちへ脈々と受け継がれています。今年はトップ英進部が発足し、作新学院は130周年を機に、新しい歩みを進めています。

さて、グローバル社会の今、日々変化していく情勢に対応し、問題を解決する行動力や人間力が求められています。皆さんはそうした力の下地となる経験や知識を学院で学びました。これからも多くの経験をし、たくさんの出会いを経て、「自分」を高めていくことでしょう。その過程では自問自答をする場面も多々あると思います。「いい人生を歩む人は、常に自分自身に問いかける」ものです。皆さんには「自分は何を求め、求められているのか」を追求できる人になってほしいと思っています。教え子の成長を見ることは教師の喜びの一つです。皆さんと会える機会を楽しみにしています。

平成25年度 英進部 第3学年主任 坂本 芳信



平成25年度卒業時の第3学年担任の先生方

総合建築資材商社

株式会社 白木屋

代表取締役 黒崎 裕康 (平成3年卒)
 宇都宮市天神1-1-33 ☎ 028-633-3327
<http://www.shiroki-ya.jp/> FAX 028-633-0792



(総合建設業)

末長建設株式会社

代表取締役 末長 修一 (昭和57年卒)
 宇都宮市中央本町4-21 TEL 028-634-6675

インテリアール **アカノ**

高野 博子 (昭和26年卒)

〒320-0058 宇都宮市上戸祭3丁目3の2
 電話 (028) 643-6231代 FAX (028) 624-7611

太平産業開発(株) (太陽光発電事業)

代表取締役 熊倉 正敏 (昭和35年卒)
 宇都宮市上小倉町2616-1 ☎028-624-2156



平成25年度卒業時の第3学年担任の先生方

今年成人を迎えられる卒業生

ご成人おめでとうございます。

総合
進学部

新成人として晴れやかに輝かしい日を迎えられた皆様、そして、今日まで深い愛情で大切に育ててこられたご家族の方々に心よりお祝い申し上げます。

皆様が卒業されてから早いもので2年が経ち、大学や短大あるいは専門学校で勉学に励まれている方や、すでに社会の一員として活躍されている方など、各々の目標に向けて自分の道を着実に歩まれていることと思います。それぞれの環境や立場は異なりますが、これからは成人として、直面する多くの問題に対し自分の判断と責任で克服していかなければなりません。

若い皆様は多くの可能性を秘めています。自分を信じ、支えてくれる人がいることを信じ、何事にも挑戦する勇気をもって欲しいと思います。時には悩み、立ち止まることがあるかも知れませんが、若き情熱と強い意志で困難を乗り越え、輝かしい未来を築かれますことをご祈念申し上げます。

平成25年度 総合進学部 第3学年主任 高橋 光男

東野交通(株) (旅のことなら)

高梨 義久 (平成3年卒)

宇都宮市平出工業団地19-8 ☎028-660-2441

仲田総業株式会社

<http://www.nakada.tv>

専務取締役 仲田 陽介 (平成3年卒)

宇都宮市築瀬町2520-4 ☎028-635-2151

日建工業株式会社

代表取締役 吉川 泰行 (平成2年卒)

宇都宮市岩曾町179-4 ☎028-625-5021

FAX 028-625-7523

E-mail : yasuyuki@nikken-kogyo.jp



福宮建設株式会社(総合建設業)

専務取締役 福田 裕 (平成4年卒)

宇都宮市鶴田町1462-1 TEL 028-648-7070 (代)

今年成人を迎えられる卒業生

ご成人おめでとうございます。

情報
科学部

新成人の皆さんおめでとうございます。また、慈しみと深い愛情を持ってお子さんを立派に育て上げられた保護者の皆さまにも重ねてお喜びを申し上げます。

皆さんを作新学院高等学校にお迎えした春、東日本大震災の直後だったため、入学前のオリエンテーションを実施することができませんでした。不安の中で高校生活をスタートさせたことを覚えているでしょうか。あれから5年・・・人と寄り添い、思いやりの気持ちを大きく育てることができたと思います。今日からは皆さんが社会の一員として何ができるかを考え行動する立場となったのです。どうか自覚と誇りを持ってください。

これからの人生は決して平坦な道のりばかりではないでしょう。しかし、たった一度の人生です。たくさんの人たちと出会い、笑顔を忘れず胸を張って歩んでほしいと願います。

きっと大きな実を結ぶことでしょう。

平成25年度 情報科学部 第3学年主任 青木 啓治



平成25年度卒業時の第3学年担任の先生方

(有)朋友塗装工業 (建築・塗装・吹付工事)

代表取締役 小野 朋之 (昭和61年卒)

宇都宮市峰3-31-30 TEL 028-634-7082
FAX 028-639-7220**(株)本澤建築設計事務所**<http://www.honzawa-net.co.jp/>

専務取締役 本澤 崇 (平成2年卒)

常務取締役 本澤 淳 (平成5年卒)

宇都宮市川田町1223-27 ☎028-645-0607

北都電工株式会社

代表取締役 荒井 健次

常務取締役 荒井 博幸 (平成2年卒)

宇都宮市上野町6076番地15 TEL 028-662-1542 FAX 028-663-4112

HOTEL NEW ITAYA<http://www.newitaya.com/>

加納 優 (昭和39年卒) 原田 欣明 (昭和62年卒)

福田 吉信 (平成6年卒) 白石 希 (平成20年卒)

宇都宮市大通り2-4-6 TEL 028-635-5511

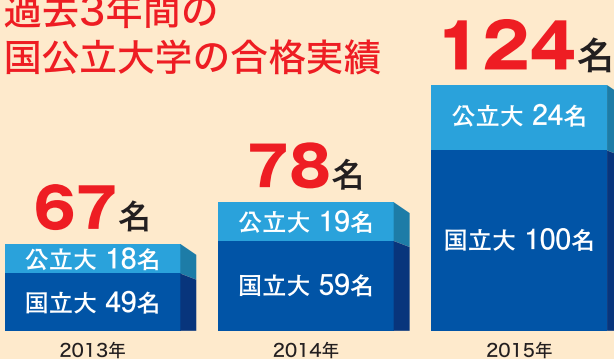
昨年度の進路状況

～京都・東北6・北海道・東京外国語3・筑波4など**国公立大学に124名**、
慶應・早稲田・上智・ICU・東京理科・MARCHレベル以上の難関私大に**83名が合格!!**～
宇大に27名合格は**全国トップ!!** 自治医大(医)・国立大(獣医)に初の現役合格者!!

平成26年度の卒業生1,240人の進路の内訳は、4年制大学に507人、短期大学に59人、専門学校(予備校を含む)に349人が進学し、就職・その他は325人であった。進路の割合は、大学や専門学校への進学は73.8%、就職・その他は26.2%であった。

専門学校への進学は、昨年に続いて「地元志向」の傾向が顕著にみられ、県内専門学校への進学者が県外の約2.4倍の数に上った。分野別では、男子が商業実務系や工業系の志願が多く、特にコンピュータ・自動車整備の人气が高かった。女子は医療・衛生系の人气が高く、看護や美容をはじめ、調理・栄養などの資格取得を前提にした進学が目立った。ゲーム・アニメ・マンガなど趣味的要素が強い分野は年々減少しており、将来の就職を意識した現実的な選択がみられた。

過去3年間の 国公立大学の合格実績



平成27年度入試の国公立大学合格者は、124人(国立大学100人<うち現役93人>、公立大学24人<現役のみ>)であり、作新学院初となる3桁100人超の合格者を出した。主な合格大学としては、京都大1・東北大6・岩手大(農/共同獣医)1・北海道大1・東京外国語大3・筑波大4・岡山大(薬)1・横浜国立大1・東京藝術大1・埼玉大3・金沢大1・新潟大8・信州大1・国際教養大1・首都大東京1などが挙げられる。このうち、国公立大学獣医学科への現役生合格は、作新学院初の快挙であった。また、地元の宇都宮大には、教育学部14人・工学部9人・農学部4人の計27人が合格を果たし、過去最高の好結果となったのみならず、全国トップの合格数を記録した。

就職に関しては、求人企業数は1,481社(前年比330社増)で、昨年を大きく上回った。「東京オリンピック景気」と言われ、関東エリアでの建設業・外食産業での求人増加が特徴的である。また、製造業の業績向上が追い風となって、高校生の“売り手市場”が続いている。一方では、医療・福祉分野においては、深刻な人手不足が続く状況となっている。昨今の就職戦線では特に、「コミュニケーション能力」「主体的・旺盛な意欲」「十分な基礎学力」が求められる傾向にあるが、学院では各学年で行われたキャリアガイダンス、インターンシップによる就業体験、人事担当者および関係機関(ハローワーク、労政事務所など)による「企業が求める人材、求められる人材」などの就職講話、外部講師による「ビジネスマナー」、卒業生による体験談の実施などが大いに生かされ、内定率アップに繋がった。こうした状況によって、例年同様、3月末にはほぼ100%の内定率を達成することができた。

一方、私立大学における主な合格大学としては、慶応義塾大1・早稲田大9・上智大1・ICU(国際基督教大)1・東京理科大10・立教大5・明治大14・青山学院大7・中央大12・法政大17・学習院大1・同志社大1・立命館大2・関西大2・自治医科大(医)1・昭和大(医)1・獨協医科大(医)2・岩手医科大(医)1・麻布大(獣医)1・北里大(獣医)1・明海大(歯)2・星薬科大1・東京薬科大2・立命館大(薬)1・昭和薬科大3などが挙げられる。このうち、自治医科大学医学部医学科への現役合格は、学院初の快挙であった。

平成26年度卒業生 進路先

部	進路	卒業生	進路先				就職・自営
			4年制大学	延べ合格者	短期大学	専門学校(含む予備校)	
英進部	男	146	122	381	1	23	0
	女	106	98	256	3	5	0
	計	252	220	637	4	28	0
総合進学部	男	290	156	180	1	78	55
	女	178	64	64	29	64	21
	計	468	220	244	30	142	76
情報科学部	男	310	49	49	2	105	154
	女	210	18	18	23	74	95
	計	520	67	67	25	179	249
総計	男	746	327	610	4	206	209
	女	494	180	338	55	143	116
	総計	1,240	507	948	59	349	325



東関東吹奏楽コンクールでは 通算15回目の金賞を受賞する!

書道部 全国総合文化祭滋賀大会にて、特別賞を英進部3年高橋桃菜さんが受賞。

また全国学生書写書道展においても英進部3年伊沢雛子さん、総合進学部2年石田詩織さんが各賞受賞。

●吹奏楽部

吹奏楽部では、創部以来、平成27年度は大きな成果をあげることができた一年でした。回数を重ねてきた定期演奏会が第50回という節目を迎え、同窓会会長の安藤氏をはじめ、2000人で満席の会場で、華やかで心地良いサウンドの演奏を披露することができ、聴衆が酔いしれました。



2015第50回吹奏楽部記念演奏会(一心不乱~千里の道も一歩から~)

大会では、東京都文京シビックホールで11月7日に開催された、第21回日本管楽合奏コンテスト全国大会で、4年連続「最優秀賞」を受賞するとともに全体の第2位に相当する「審査員特別賞」を受賞することができました。また、9月5日に行われた第21回東関東吹奏楽コンクールでは通算15回目の金賞を受賞し、7月30日には全国高等学校総合文化祭(びわ湖総文)で演奏するなど数多くの成果をあげてきました。

これまでに当部の卒業生は1118名になり、各方面で活躍しています。高校卒業後の進路ですが、ここ数年は東京芸術大学をはじめ、音楽大学や吹奏楽の強豪校に進学する生徒がいます。作新学院大学にも吹奏楽部が発足し、東関東アンサンブルコンテストに出場するなど成果をあげましたが、その主力として吹奏楽部のOB・OGが活躍しています。また、吹奏楽部のOB・OGの吹奏楽団である「作新楽音会」にも多くの卒業生が所属し、卒業後も吹奏楽活動を通して、余暇

を楽しんでいます。現在74名の部員が所属し、楽器の技術の向上はもちろん、役割分担をこなし、部員同士が互いに支えながら、生き生きと活動を展開しています。規律正しい部員がほとんどで、有意義な活動を展開しています。今年度は3年生が19名と少なかったのですが、個々の演奏能力が非常に高く、表現力豊かな音楽が奏でられる吹奏楽部に成長した結果として良い成果があがられたのかと感じています。

平成28年度は5月29日にフレッシュグリーンコンサート、7月3日に東京農大二高とのジョイントコンサート、11月4日には第51回定期演奏会が、いずれも栃木県総合文化センターで行われます。是非ご来場くださいますようお願い申し上げます。

●書道部

第39回全国高等学校総合文化祭滋賀大会書道部門において、第6位にあたる特別賞を、英進部3年高橋桃菜さんが受賞しました。また、第39回全国学生書写書道展において、英進部3年伊沢雛子さんが高校の部第5位にあたる全書会会長賞、7位にあたる全書会大賞に、総合進学部2年石田詩織さんが受賞しました。

今年度は2月5日~7日に県総合文化センター第2・3ギャラリーにて作新学院書道展を開催します。最終日14時より会場にて書道パフォーマンスを披露します。是非ご覧ください。



全国学生書写書道展での英進部3年伊沢雛子さん



特別賞の英進部3年高橋桃菜さん

株式会社
 企画装飾
 代表取締役会長 関 正三 (昭和24年卒)
 〒321-0905 宇都宮市平出工業団地38-32
 TEL 028-662-6551(代) FAX 028-663-3579

宇都宮のあたたかい家づくりNo.1 株式会社オースタム
<http://www.oustam.com/>
 取締役部長 鈴木 博之 (平成9年卒)
 宇都宮市立伏町948-163 ☎028-672-3734

鈴木 整骨院
 硬式野球部OB会元会長
 院長 鈴木 仁 (昭和31年卒)
 副院長 鈴木 和仁 (昭和57年卒)
 宇都宮市鶴田町 2945-16 ☎・FAX 028-633-8066

作新学院 親交会
 会長 荒井 祥
 宇都宮市一の沢1-1-41 ☎028-648-1811



軟式野球部 高等学校軟式野球選手権、 紀の国和歌山国体で優勝

『若きころの あこがれや』高校野球100年の節目に硬式野球部5年連続甲子園出場。
県内最多の11度目の甲子園出場を決める

第97回高等学校野球選手権大会

<硬式野球> 県史上初5年連続出場



第60回高等学校軟式野球選手権

<軟式野球> 優勝



川口涼太(情3)中山知哉(情3)山根圭介(情3)秋元 旺(総3)
高木 雄(総3)福田聖也(総3)吉澤輝樹(総3)村田和哉(英2)
相田莉斗(総2)大塚皓輔(総2)半田莉紅(総2)阿久津海士(総1)
川子 篤(総1)神成汰星(総1)小松大華(総1)鈴木優太(総1)
秋山木実(総3)

第70回国民体育大会 紀の国和歌山国体成績

<軟式野球> 優勝

川口涼太(情3)中山知哉(情3)山根圭介(情3)秋元旺(総3)
高木 雄(総3)福田聖也(総3)吉澤輝樹(総3)相田莉斗(総2)
大塚皓輔(総2)半田莉紅(総2)阿久津海士(総1)神成汰星(総1)
小松大華(総1)鈴木優太(総1)

<ボクシング>

総合進学部3年 尾花瞬夢 ミドル級 3位
総合進学部2年 黒柳 禪 ウェルター級 5位

<陸上競技>

総合進学部3年 高内真壮 走り幅跳び 4位
総合進学部1年 落合廉 100m 7位

インターハイ・君が創る総体2015

<弓道>

総合進学部2年 齋藤果奈 個人 優勝
団体 4位 技能優秀賞
佐藤沙紀(総3)豊田佑子(総3)
伏見梨紗(総3)齋藤果奈(総2)
西崎寧々(総2)大藤美涼(総1)



<ボクシング>

総合進学部2年 黒柳禪 ウェルター級 3位
総合進学部3年 山下空 ライトフライ級 5位
学校対抗 6位
尾花瞬夢(情3)稲葉 武(総3)菊池一記(総3)三尾谷昂希(総3)
山下 空(総3)黒柳 禪(総2)赤羽根烈(情1)

<自転車競技>

情報科学部3年 小池千啓 1kmタイムトライアル 5位
情報科学部3年 秋本耀太郎 4km速度競争 6位
チームスプリント 7位
秋本耀太郎(情3)小池千啓(情3)福富雅也(総3)

全国大会成績

<ゲートボール>全国ジュニアゲートボール大会

女子1部クラス 優勝
山本ちあき(総3)渡邊珠生(情2)高橋優果(総2)並河綾香(総2)
平石里菜(総2)藤田結女(総2)渡邊遥香(総2)
男子1部クラス 3位
安達真吾(情3)加藤剛(情3)菊地翔太郎(情3)堀智耶(情3)
半田雅樹(総3)小峰大輝(情1)松石浩明(総1)

<パワーリフティング>

全日本高等学校パワーリフティング選手権大会

情報科学部3年 久保雄嵩 59kg級 2位
英 進 部3年 鈴木悠介 66kg級 2位
英 進 部1年 福島諒子 63kg級 2位
総合進学部3年 齋藤裕馬 93kg級 3位
総合進学部1年 堀内梨生 52kg級 3位
英 進 部1年 小堀美穂 57kg級 3位
英 進 部3年 寺田 勇 74kg級 5位
総合進学部3年 山本隼人 85kg級 5位
総合進学部2年 菅又康晃 93kg級 5位
総合進学部1年 増田有香 57kg級 5位

<陸上競技>日本ユース陸上競技選手権

4×100m リレー 8位
江田尋貴(総2)近藤真輝(総2)落合廉(総1)西田達哉(総1)

<ゴルフ>全国高校選手権

団体 8位
大沼竜也(総3)金子優将(総3)須藤啓太(総3)百目鬼光紀(総3)
内田直輝(総1)

<女子硬式野球>全国高校選手権

3位
齋藤 静(英3)鈴木満由伽(情3)飯村茉莉(総3)井上智尋(総3)
及川莉奈(総3)小笹優奈(総3)酒井友理(総3)沼田 桜(総3)
上泉晴奈(情2)高木摩耶(情2)中村遥香(情2)水沼裕菜(情2)
岡田絢女(総2)荻原朋花(総2)片岡美奈(総2)田代文美(総2)
生井紗夏(総2)蜂須賀祥絵(総2)月井咲良(情1)
鎌田麻柳(総1)光部紀穂(総1)田所育恵(総1)藤巻史帆(総1)

<バドミントン>全日本ジュニア選手権

総合進学部2年 海老原詩織 優勝

作新学院高等学校 P・T・A
平成24年度優良PTA文部科学大臣賞 受賞
会長 片柳 二郎
宇都宮市一の沢1-1-41 ☎028-648-1811

宇賀神工業 株式会社
代表取締役 宇賀神 真一 (昭和57年卒)
鹿沼市千渡1605-88 ☎0289-64-4141
ugajins1@ninus.ocn.ne.jp

作新学院 部活動

『優るとも劣らない』感動に、活躍が続出

OB・OG会 活動

部活動OB・OG会会長 川島 八郎 (昭和37年卒)

平成27年度における部活動の活躍は前年に増して、硬式野球部の5年連続甲子園出場をはじめ、34部304名の全国大会出場を果たし、弓道部女子・バドミントン部女子・ゲートボール部女子・少林寺拳法部女子・軟式野球部が見事優勝を成し遂げました。きっと多くの卒業生が感動と誇りを得たことでしょう。その人達を代表し敬意と感謝を申し上げます。

野球で大活躍をし、監督も経験したOBをはじめ、オリンピック体操競技で逆転のスーパー演技を成功させ金メダルを獲得し、国立大学教授職に就き現在も指導者として活躍しているOBがいます。他の分野でも日本を代表する指導者として嘱望されているOB・OGもいます。身近な先輩たちの講和を聞くことにより、効果が上がることは確実です。

OB・OG会の活動について (私案)

- 1 2020年の日本で開催される2回目の東京オリンピック2022年、やはり2回目となる栃木県国民体育大会で“作新の風”をより強く吹き起こすために、部活動の先生はどんなことを求めているのか、OB・OG会はどんな支援が出来るのか両者による会議を開催する。
- 2 顕著で経験豊富なOB・OGの講演会実施。
高校野球甲子園大会で優秀投手、大学で完全試合、プロ

- 3 現代は、ほとんどの競技が以前とは違い、野球やサッカーのように高校に入学してからスタートするのではなく、幼少期から練習開始が出来る環境整備が急務であると思います。

現在の高校在学学生は、東京オリンピック、栃木国体での活躍が期待できる可能性が大了。

「夢の実現を目指し、全力で精進いたしましょう」

作新経済同友会と作新学院同窓会との係わり

須藤 宏明 (平成7年卒)

作新経済同友会(新友会)は作新学院のPTA及び同窓会の役員を歴任された方々を中心となり、各種活動で制限のある同窓会と連携をとりながら異業種の同窓会員による幅広い交流によって会員相互の親睦と経済的地位向上を目的として活動しております。

実際の活動としては毎月1回の定例会、季節ごとのイベントや研修旅行を開催しております。今年作新学院同窓会合同研修旅行も行いました。毎月の定例会では各業界の専門の方々に講師として来ていただき聴講しております。そして今年の研修旅行では、茨城県にある自衛隊百里基地と予科練平和記念館を見学しました。百里基地では国際情勢や国防の現状から実際の活動として、東日本大震災よりスクランブル発進件数が急増し、今年度は米ソ冷戦時のスクランブル件数より多くなるというお話をお聞きしました。集団的自衛権などの憲法改正問題もあり、改めて自国

の安全について考えることとなりました。その後、予科練平和記念館に移動し、当時の予科練生の生活からその後の特攻の悲劇まで改めて詳しく知ることが出来ました。



このように、新友会では、時世に即した講習や研修などを行っております。今後も会員の自己成長を目指しつつ同窓会との連携をさらに親密に行きたいと考えています。このような活動をしている新友会の会員を広く募集しております。ご興味のある方は事務局までご連絡ください。今後ともよろしくお願いいたします。

同窓会組織(執行役員)

会 長	安藤 寛樹 (昭和45年卒)	幹 事 長	鈴木 勲 (昭和38年卒)
副会長	三村 松司 (昭和35年卒)	総務企画部 部長	小池 国夫 (昭和45年卒)
〃	坂本 功樹 (昭和50年卒)	組織財政部 部長	櫻井 英治 (昭和57年卒)
〃	小牧 英夫 (昭和56年卒)	広報部 部長	渡邊 幸雄 (平成4年卒)
〃	青木 啓治 (昭和48年卒)	文化厚生部 部長	遠藤 盛 (昭和58年卒)
〃	渡辺 毅 (昭和50年卒)	青年部 部長	安藤 篤史 (平成8年卒)
〃	福田 勝江 (昭和31年卒)		
〃	尾花 一浩 (平成元年卒)		

<http://www.sakushin-ogob.gr.jp/>

E-mail:sakushin-dousoukai@sakushin-ogob.gr.jp